

□利用実証提案書
■利用実証計画書

平成28年 5月19日 Ver.0

テーマ	無人航空機による本土－離島間自動飛行による物資輸送に関する実証実験	
実証参加機関 (共同機関)	日立造船株式会社(熊本県・熊本大学・上天草市)	
目的	本土－離島間など物流拠点間を結ぶ比較的長距離の輸送に焦点を当て、無人航空機を準天頂衛星の測位補強機能を用いて自動飛行を行う。	
期間	全体	2016年 3月29日 ～ 2017年 3月31日
	時間・頻度	●時間: 9時～17時 ●頻度: 7月1日～11月30日の間 陸上及び海上飛行実験期間内
実施場所	●地名: 熊本県 (玉名郡長洲町及び上天草市) ●環境: オープンスカイ・海上	
構成 ※必要に応じて構成図等を次ページ以降に添付	●システム全体構成 受信機(SPAC 殿より貸与を受ける)、PC、無線 LAN 装置、衛星通信装置、電源装置、無人航空機(産業用ドローンを想定)。 ●データ処理 受信機から常時出力される時刻と位置、測位結果の品質の情報を入力として、無人航空機を自動飛行させるための飛行制御を行う。	
内容 ※必要に応じて次ページ以降に添付	●実証概要 実証構成と用いて実証概要の説明を記載。下記の内容は記載すること。 ・端末設置状態 移動(最高 60km/h) ・アンテナ設置箇所 無人航空機(本体) ・移動する範囲 工場敷地内及び上天草市内(江樋戸港－湯島) ・取得するデータ(NMEA) ●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法) ・無人航空機の正確な飛行 ・離発着設備(フェンスで仕切)での正確な離発着 ・目視及びログデータによる正確なルート飛行 ●確認時期 ・リアルタイム及び後処理 ・後処理データ必要	
受信信号	●使用する測位信号名を記載 ・GPS: L1C/A、L2P、 ・QZS: L1C/A、L2C、LEX	
受信設備	●使用する測位信号受信機などを記載 ■貸与品目/数(CMAS・CLAS 受信装置) / 一式) □持込品目/数(/)	
ソフトウェア	●測位結果確認ソフトウェア 無し	
実証前の要求事項	実証時期に使用する補強方式を明確にして欲しい(CMAS 又は CLAS)	
実証時の要求事項	無人航空機に搭載可能な小型化(三菱電機製)の貸与	
実証後の要求事項		
その他		